



SCOPH  
Public Health

2013年2月23日  
なごぬい2月勉強会  
報告書

武藤由起

2013年3月3日

## なごぬい2月勉強会 with 保育士さん

日時	2013年2月23日
目的・対象	<p>【目的】 保育士の立場からのお話を聞き、子どもについて、子どもを取り巻く環境について、考える。 「自分が楽しむ」ことを大切にしてもらう。 体操作りの意義を考え、原点に立ち返る。</p> <p>【対象】 なごやぬいぐるみ病院メンバー 他大学のぬいぐるみ病院メンバー</p>
参加人数	19名（+外部講師の友人3名が一部参加）
活動内容	<p>【南さん講演①】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・多様化する保護者のニーズと広がる保育所の役割</li><li>・増加する発達障がい児と保護者の戸惑い</li></ul> <p>【南さん講演②】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保育実践紹介「揺れ動くK子の気持ちに寄り添って」</li><li>・子どもと接する上で心がけていること。</li><li>・子どもたちが求めているもの。</li><li>・保護者が求めているもの。</li><li>・病中の子どもを保育園に連れてきてしまう保護者。</li><li>・それでも働かなければならない社会。子どもの権利は守られている？</li></ul> <p>【WS①】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ワークライフバランスについて考える (医師として、親としての理想の働き方を考える)</li><li>・<u>医師としての視点、親としての視点両方から、自分の将来を考える</u><ul style="list-style-type: none"><li>①「理想のキャリア」</li><li>②「理想の家庭」</li></ul>(特に、子どもとの関係に焦点を当てる) →「①を重視するとどうなるか？」 「②を重視するとどうなるか？」 →「①②のバランスを取るためにはどうすれば良いか？」</li></ul>

	<p>【南さん講演③+ダンス披露】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園でダンスを始めるようになったきっかけ。</li> <li>・だるまブラザーズ メドレー披露</li> </ul> <p>【WS②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アイアイ」「さんぽ」「うさぎとかめ」に合わせて、「好き嫌いなく食べよう！」をテーマに歌詞&amp;振付をつけて体操作り</li> </ul> <p>→実際に実施現場だと思って挨拶からの流れで体操発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分が楽しむ！」ことを意識する</li> </ul>
<p>自由記載欄 (感想、反省など)</p>	<p>保育士の立場からの話を聞いて、「医療者」としてのみならず、「親」の視点に立って考えることができたのではないかと思う。</p> <p>発達障がい、虐待に興味を持つ学生が多く、保育園での発達障がい児の実情、虐待の現状を聞く機会が提供できて良かった。</p> <p>保育園の現状から、医療現場での対応にまで話を展開していただけたので、より現実味のある講演になった。</p> <p>「意義を考えて活動する」「自分自身も楽しむ！」をテーマにした勉強会だったが、講演でもWSでも、真剣に考え、そして楽しそうに取り組む参加者さんの姿が印象的だった。</p> <p>企画書の改訂何度も重ね、南さん（外部講師）にご迷惑をおかけしてしまったのが心苦しいが、南さん自身ご自身に「何度も打ち合わせをし、伝えたいこと、実施内容をしっかり確認しながら進められたので、講演もスムーズにでき、お互いに満足いく勉強会になって良かった。」と言っていたので、何度も詰めなおした意義はあったのではないかと思う。</p> <p>次年度に入る前に、原点に立ち返り、改めて「子ども」について考えることができた。</p>
<p>スタッフ</p>	<p>活動責任者：武藤由起（名古屋大学医学部医学科1年） 伊東歌菜（名古屋大学医学部医学科1年） 野村花江（名古屋大学医学部医学科1年） 牧野早也香（名古屋大学医学部医学科1年） 藤倉舞（名古屋大学医学部医学科1年）</p>

